

CSR報告書 2016



大地への愛 人間への愛

 **銭高組**

CONTENTS

目次	1
銭高組の歩み	1
トップメッセージ	3

特集 「生産性・安全性の向上を目指して」

インクラインの採用による生産性向上と環境への配慮	5
銭高組式柱 RC 梁 S 接合構造による効率化	6
「TUNNEL EYE」の開発・実用化	7
サイレンスチューブ®の開発・実用化	8
開かれた建築生産プロセスを目指した BIM	9
ICT活用の推進	10

PROJECT REPORT

ベトナムで日本と同様の品質を提供 BRIDGESTONE TIRE MANUFACTURING VIETNAM LLC	11
物流施設の床コンクリートの品質追求 グッドマンビジネスパークイースト	13
被災地に元気と笑顔を届ける現場に 南三陸病院・総合ケアセンター南三陸	15
交通量の多い都心部で事務所ビルを施工 アーバンネット日本橋二丁目ビル	16
急峻な山岳地形の困難な施工条件を克服 奥瀬道路 玉置口第二橋	17
「命の道」の整備を通じて地域に貢献 近畿自動車道紀勢線 日置川橋 A1-P8	18
街と街、心と心をつなぐ橋のかたち 橋の施工実績/ウガンダ共和国 ジンジャ・ナイル架橋	19

持続可能な社会の実現に向けて

ゼロ災害をめざして	21
環境への配慮	23
お客様の期待に応える品質の提供	25
社会から求められる企業であり続けるために	26
法令を順守した事業活動	27
人材育成とキャリア開発	28
多様な人材の活用	29
働きやすい職場づくり	30
地域社会の一員として	31
銭高組のCSR	33
主な社外表彰、会社概要	34



本願寺尾崎別院

1705 (寶永2年)

創業の瞬間

番匠屋 銭高家は、江戸時代より泉州(せんしゅう)尾崎村(現 大阪府阪南市尾崎町)にて、歴代 銭高林右衛門、銭高助左衛門などを襲名し、銭高善造に至るまで宮大工の棟梁を代々家業としていました。1705(寶永2)年9月18日、業祖 銭高林右衛門が棟梁として建立に携った本願寺尾崎別院(現存)が落慶します。これが銭高組創業の瞬間です。

1887 (明治20年)

銭高組創立



銭高善造

社祖 銭高善造は、1884(明治17)年に泉州尾崎村より上京し、明治の文明開化の波と共に勃興しつつあった西洋建築の新技術や近代経営の習得に努めるなか、数多くの得意先から知遇を得ていきます。

1887(明治20)年、善造は大阪市内の地に移り、屋号の番匠屋を銭高組に改め、新たな一歩を踏み出します。



尼崎紡績本社工場

創立当初の銭高組は、当時、新興産業として各地に工場をつくりつつあった紡績会社や、鉱業関係会社の仕事を多く得て、日々成長していきます。明治20年代の大阪には、河内や和泉など綿作地帯があり、紡績業の隆盛はめざましく、多数の紡績工場が誕生し、“東洋のマンチェスター”とまで言われていました。

そんな中、当社が初めて独力で手がけた工事が、1891(明治24)年に竣工した尼崎紡績の工場建設でした。同社は兵庫県に誕生した初の本格的紡績会社で、のちに日本最大の紡績会社となります。

銭高組の歩み



勝鬨橋

1940 (昭和15年) ひらけ勝鬨橋

勝鬨橋(かちどきばし)は、1940(昭和15)年に国家的イベントとして計画されました。東京市(当時)、銭高組を主体とし、昭和8年の工事着手から、資材が不足する中、7年の歳月をかけて完成しました。当時は隅田川を航行する船舶が多かったため、陸運よりも水運を優先させる可動橋として設計され、設置当初は1日5回、1回につき20分程度開いていました。

しかし、東京オリンピックが開催された1964(昭和39)年以降は、跳開回数は年間100回を下まわるようになり、残念ながら1970(昭和45)年を最後に跳開されることはなくなりましたが、2007(平成19)年には国の重要文化財に指定される等、いまでも広く親しまれている橋のひとつです。

1961 (昭和36年) インフラ整備

地下鉄工事は「都市土木の花形」と言われ、施工会社の技術や経験が求められる工事です。1958・60(昭和33・35)年の受注に続けて、1961～62(昭和36～37)年に東銀座・歌舞伎座付近で5件の地下鉄工事を受注しました。当時から銀行など多くのビルが立ち並び、交通量が非常に多く、騒音や振動には特に神経を使い、歌舞伎座付近を施工する際は、興行に支障をきたさないよう22時以降に限定して工事を行いました。

この頃から、地下鉄関連の土木工事は年を追うごとに大型化・複雑化していきますが、ここで培った経験と実績をきっかけに、全国の都市部のインフラ整備に貢献してきました。



日比谷線東銀座付近



駒沢オリンピック公園総合運動場屋内球技場

1964 (昭和39年) 東洋の魔女の舞台

駒沢オリンピック公園総合運動場屋内球技場は、1964(昭和39)年の東京オリンピックのバレーボール競技で、“東洋の魔女”といわれた日本女子チーム金メダル獲得の舞台となった球技場です。

優美なバタフライ型屋根が特徴で、アリーナは楓材を用い、選手たちの脚部の安全を守るため特殊張り工法で施工されました。

現在、建替え工事を当社で施工中です。2017(平成29)年春にはすべての人が使いやすく、環境にやさしいスポーツ施設としてオープンする予定です。

2006 (平成18年) 伝統文化の継承

上方落語は300年の歴史を誇る上方の伝統笑芸です。戦前は大阪天満宮界限にも8軒の寄席がありましたが、戦後は1軒もなくなってしまいました。寄席の復活を願う上方落語協会の申し出に、街の活性化を目指す天神橋筋商店連合会が賛同し、大阪天満宮から敷地の無償提供を受けることで長年の夢が実現したものです。落語専用の常設寄席としては60年ぶりの復活となりました。

施工を当社が担当し、2006(平成18)年9月の開業以来、大阪の新しい観光スポットとしても注目を集め、街の活性化にも大きく貢献しています。

建物内外に吊るされた1,500個の提灯には寄付者一人ひとりの名前が書かれ、この建物に寄せる人々の熱い思いが伝わります。



天満天神繁昌亭

社会から認められ 社会から求められる企業として



■はじめに

6月に、前任の錢高一善現会長から引き継ぎ、代表取締役社長に就任しました。

当社は、1705年の創業以来、一貫して「信用第一、堅実経営、積極的精神、和親協同」の社是を順守し、お客さまに満足いただける品質の建築物や構造物等をお約束した期間内に無事故・無災害でお引渡すことを最優先に考えてまいりました。社長就任にあたり、社員には経営理念に掲げる「社会から認められ、社会から求められる企業」を再認識し、原点に立ち返ろうと呼び掛けました。今まで以上に企業価値を高めてまいりますので、これまで同様にご愛顧いただきますよう宜しくお願い致します。

■建設市場の動向

さて、現在の建設市場ですが、リーマンショック後の景気悪化に伴う建設投資の減少を抜け出し、ここ数年の建設投資は50兆円前後の比較的安定した規模で推移しています。当社も含めた建設会社の受注環境についても、行政や業界団体が尽力された経緯等もあり、一時の過剰な価格競争を脱したように感じています。2016年度は多くの建設会社がそうであったように、当社も利益に関しては対外的に発表している計画数値を大幅に上回ることができている見通しです。これは最前線の現場が努力した結果ではありますが、事業環境に吹いた追い風による部分も大きいことも事実です。現状に安穩することなく、より高い目標を目指し、全社一丸となって努力してまいります。

■建設業界の抱える問題

現在の建設需要は安定しているように見えますが、東京を始めとした大都市部に限定されているのも特徴の一つです。地方都市の動きは依然として鈍く、我々の受注環境は決して楽観視できるものではありません。また、建設技能労働者の高齢化や、離職者の拡大といった問題は、当社も含めた建設業界に突き付けられた重大な問題です。



「生産性向上」、「担い手確保」の実現なくして、業界全体、そして銭高組の未来はあり得ない、それ程大きな経営課題であると認識しています。今回のCSR報告書では、生産性・安全性の向上を目指した当社の取り組みを特集し、また、多様な人材の活用や働きやすい職場づくりも紹介させていただいています。未来永劫に発展し続けるため、当社は目の前にある問題を一つひとつ克服し、将来訪れるであろう課題に先手を打って対応しています。

■未来に向けて

英国のユーロ離脱や米国の大統領選挙に見られるように、誰も予想しなかったことが世界で起きています。テロや自然災害等も世界各地で頻発しています。いわば「不確実な時代」に突入したといっても過言ではありませんが、こうした時代を当社も生き抜いていかなければなりません。そのためには、設計図書に定められた建築物や構造物等を、工期内に良質な品質でお客様に確実に引渡すこと、これしか生き抜く術はないと考えています。

当社は昨年創業 310 周年を迎えましたが、その歴史を積み重ねる過程においては、現在よりも不確実な時代もありましたし、想定していなかった出来事も数多く経験してきました。そうした時代を乗り越えてきた先輩方の知識や知恵、ノウハウが当社には備わっています。今回のCSR報告書では、社員がそれぞれの仕事やプロジェクトを紹介させていただいています。当社には不確実な時代を言い訳に手を抜く社員は一人もおられません。それぞれ、真面目に、誠実に自分に与えられた仕事を全うしています。

いずれにしても、難しい経営環境下に置かれていることは間違いありません。これまで以上に皆様方の信用・信頼に応えられる企業となるべく、品質向上や災害撲滅に取り組むことは勿論、環境保全活動や社会貢献活動になお一層注力して積極的に取り組む所存でございます。皆様方におかれましては、当社の企業活動にご理解をいただき、忌憚のないご意見を賜りますようお願い致します。

2016年12月

社長 銭高久善

特集 生産性・安全性の向上を目指して

人口減少や高齢化による建設技能労働者の減少が、現在の建設業界の中長期的な課題になっています。この課題を打破し、世代交代を進めるためには、より一層の生産性の向上が欠かせません。こうした背景から、国土交通省は「i-Construction」の導入・活用を本格化しています。一方、生産性向上のために安全性向上が損なわれてはなりません。

当社が永年培ってきたノウハウに基づく施工計画の改善や、ICT活用による生産性向上・安全性向上の適用事例をご紹介します。



効率化 安全性 環境配慮

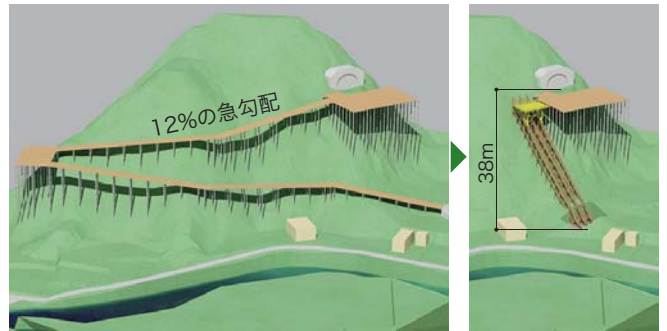
インクラインの採用による生産性向上と環境への配慮

桐木 俊之 東京支社 土木支店 土木部 作業所長(中部横断自動車道 帯金第1トンネル工事)



●標高差 38m上方での施工

中部横断自動車道のうち、当社が施工中の帯金第1トンネル工事は、トンネルの坑口が現状地盤から38m上方にあるため、当初設計では仮設栈橋による工事用道路が計画されていました。しかし、仮設栈橋の場合は12%の急勾配となり、冬期の路面凍結によるスリップ事故の懸念や広範囲にわたる森林伐採などの課題がありました。



当初設計(仮設栈橋によるアプローチ)

インクラインに変更

●インクラインの採用

標高差の大きい区間の輸送を容易にするための装置として、レールを敷いてワイヤーロープでステージ(12m×9m)を昇降させる装置(インクライン)を採用し資機材を搬出入することにしました。

インクラインの採用により、天候に関係なく資機材を搬出入できるため、安定した工程管理・生産性向上が図れています。また、急勾配の仮設栈橋を搬入車両が走行することがなくなり安全性の向上と騒音防止・CO₂削減等の環境負荷の軽減に寄与しています。

工事概要

施工場所 山梨県南巨摩郡
発注者 国土交通省関東地方整備局
設計者 ㈱建設技術センター
構造・規模 道路トンネル 267m

i-Construction:「ICTの全面的な活用」「規格の標準化等」「施工時期の平準化」等の施策を建設現場に導入することによって、建設生産プロセスにおいて抜本的な生産性向上を図り、魅力ある建設現場を目指す国土交通省の取り組み

ICT:(Information and Communication Technology)情報通信技術を表す言葉として既に一般的となったITの概念に、通信コミュニケーションの重要性を強調した言葉で、ネットワーク通信による情報・知識の共有を念頭に置いた表現



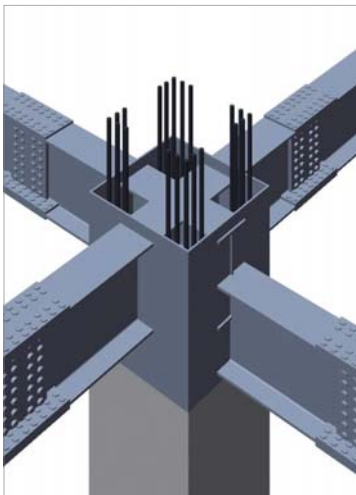
省力化 安全性 平準化

銭高組式柱RC梁S接合構造による効率化

山崎 正健 東京支社 建築支店 建築部 作業所長(三井不動産ロジスティクスパーク柏)

●銭高組式柱RC梁S混合接合構法

この構法は、柱を鉄筋コンクリート(RC)造、梁を鉄骨(S)造とした混合接合構法で、2008年に建築技術性能証明を取得し、その後も改良を加え、数々の工事に適用しています。スパンを長くとることが可能で、かつ軸力の作用する柱をRC造とする合理的な構造です。倉庫やショッピングセンターなど長スパン空間が求められる建物に適しています。



銭高組式柱 RC 梁 S 接合構造



システム型柱

●「柱筋の地組」と「システム型柱」

延べ3万㎡を超える大型物流施設の延べ344本の柱躯体を施工するにあたり、工事の省力化と安全性・作業員の平準化を考え、「柱筋の地組」と「システム型柱」を採用しました。柱の鉄筋は地上で組み立て後にクレーンで吊り上げて所定の位置に機械式継手で接合します。システム型柱は脱型時には4つの側面ではなく2つのL型に分割され、次工区にスピーディーに転用することができます。また、今回採用したシステム型柱は、打設足場・昇降設備・建入れ調整用サポートがセットされているため、省力化が図れています。

●鉄骨梁の架設

鉄骨梁の架設にあたっては、あらかじめ大梁とコア部をI型に地組した鉄骨を、高所作業車を用いて建方しました。鉄骨梁を地組することにより、高所での作業工数を低減し、安全かつ効率的に施工しました。

工事概要

施工場所	柏市青田新田
発注者	三井不動産(株)
設計・監理	銭高組一級建築士事務所
構造・規模	柱 RC 梁 S 造 4 階建
完成	2015 年 11 月



梁架設状況

特集 生産性・安全性の向上を目指して



安全性 IoT活用 省エネ

「TUNNEL EYE」の開発・実用化

白石 雅嗣 技術本部 技術研究所 主任研究員

●山岳トンネルの安全性・省エネ化

山岳トンネル工事では、坑内の作業員の位置や、作業環境の状態監視など、より一層の安全性の向上が求められます。また、施工機械や工事照明、換気ファンなど多くの電気機器を用いるため、省エネ化が課題です。

●TUNNEL EYE の開発 (IoT 活用)

「TUNNEL EYE」は IoT の仕組みを活用し、作業員の位置・作業環境・施工機械・電気機器をモニタリングするセンサーと制御端末をインターネットにつな

ぐことで、これまで手動で行っていた入坑状況把握と作業環境計測を自動で管理するものです。また、工事照明や換気ファンなどの電気機器の自動制御による省エネを実現するものです。

●安全性の向上

安全性の向上においては、センサーで計測した坑内情報をサーバーで分析し、作業工程判断に基づき、制御端末と通信することで自動制御を行います。例えばダンプトラックなどの大型車両が往来すると判断した場合に、通常よりも坑内照度を

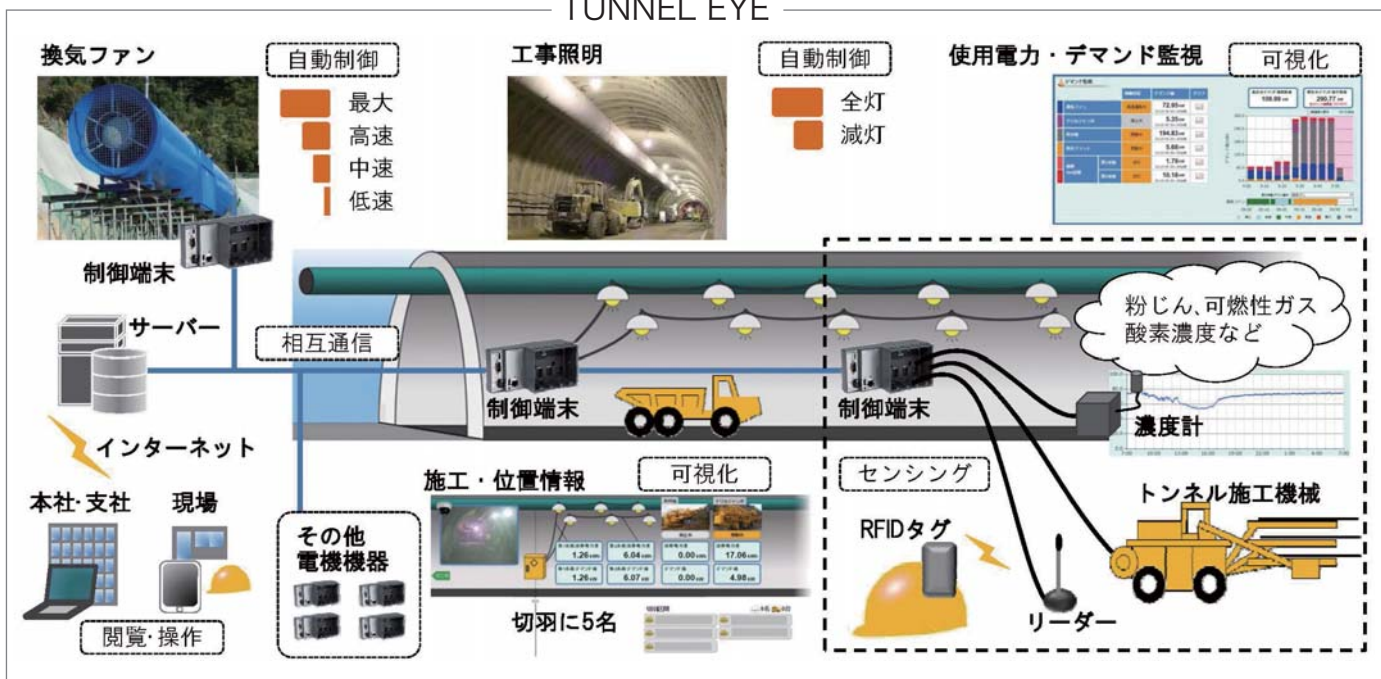
を高めます。また作業環境が悪化する恐れのある作業工程の場合に、事前に換気ファンの風量を強める等の自動制御が可能になります。

●試験導入と有効性の確認

高松自動車道志度トンネル工事で試験導入し、本システムの効果を確認しました。今後も新たな山岳トンネル現場で、本システムを積極的に活用し、安全性の向上とともに、省エネによる環境負荷の低減 (CO₂) に貢献します。

国土交通省新技術情報提供システム (NETIS 登録番号) KT-16007D-A

TUNNEL EYE



制御端末



換気ファン



組込型制御端末の設置例



騒音対策 汎用性 低コスト

サイレンスチューブ®の開発・実用化

角田 晋相 技術本部 技術研究所 主任研究員

●山岳トンネルの騒音問題

山岳トンネル工事では、発破による騒音対策として防音扉を設置しますが、人の耳には聞こえない低周波音に対しては効果が低く、近隣住民に対して不快感や圧迫感を与えるといった問題があります。

●サイレンスチューブの開発

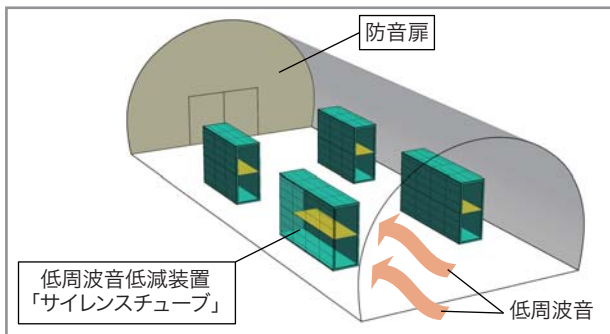
サイレンスチューブは、音響管による共鳴現象を利用した消音装置で、特定周波数の音を大幅に低減することができます。

現地のトンネル形状や寸法に応じて音響管を組み立てて設置するため、車両通路の確保などトンネル空間に対して効率的な配置が行えます。

また、音響管の組み立てには建設現場でよく使われる鋼製型枠などの汎用部材を用いるため、現場近郊での材料調達が容易で輸送費も少なく済み、解体後も廃棄物はほとんど発生せず、環境にやさしい技術です。

●低減効果の向上

本技術の2現場目の適用として、高松自動車道志度トンネル工事に試験導入しています。今回の導入では、音響管の開口面に吸音材の膜を付加し、音の低減効果を向上させています。トンネル坑口付近と坑口から約 200m 離れた民家付近で発破時に低周波音測定を行った結果、10 ~ 25Hz 帯の低周波音を 7dB 程度低減効果を確認しています。



サイレンスチューブ概念図



現場設置状況



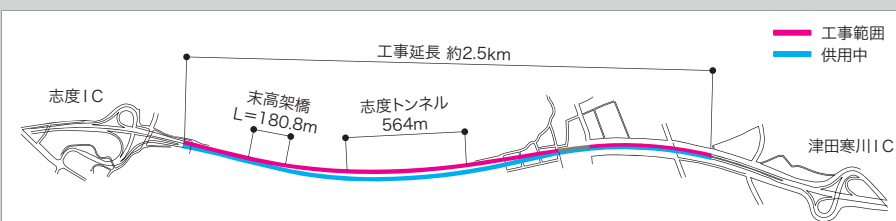
適用作業所

高松自動車道四車線化事業 志度トンネル工事

星野 毅志 大阪支社 土木統轄部 作業所長

本工事は、四国横断自動車道の鳴門から高松市境まで（延長 51.8km）の高松自動車道四車線化事業の一部で、志度トンネルと末高架橋を含む 2.5km を施工するものです。工事延長全線において、供用中の高松道・高松東道路に近接した施工となり、特に志度トンネル

の施工は、トンネル中心間距離が最少 30mと近接しているため、発破振動の許容値を設定して火薬量を制限し、供用中のトンネルへの影響を監視しながら施工しました。「TUNNEL EYE」と「サイレンスチューブ」適用による生産性と安全性向上の効果が確認できました。



工事概要

施工場所	香川県さぬき市
発注者	西日本高速道路(株)四国支社
設計	(株)オリエンタルコンサルタンツ
構造・規模	道路トンネル 564m 他
完成	2017年2月予定

特集 生産性・安全性の向上を目指して



見える化 時間短縮 ICT活用

開かれた建築生産プロセスを目指したBIM

青木 広充 建築事業本部 設計統轄部 意匠設計部 グループリーダー

●「見える化」への対応

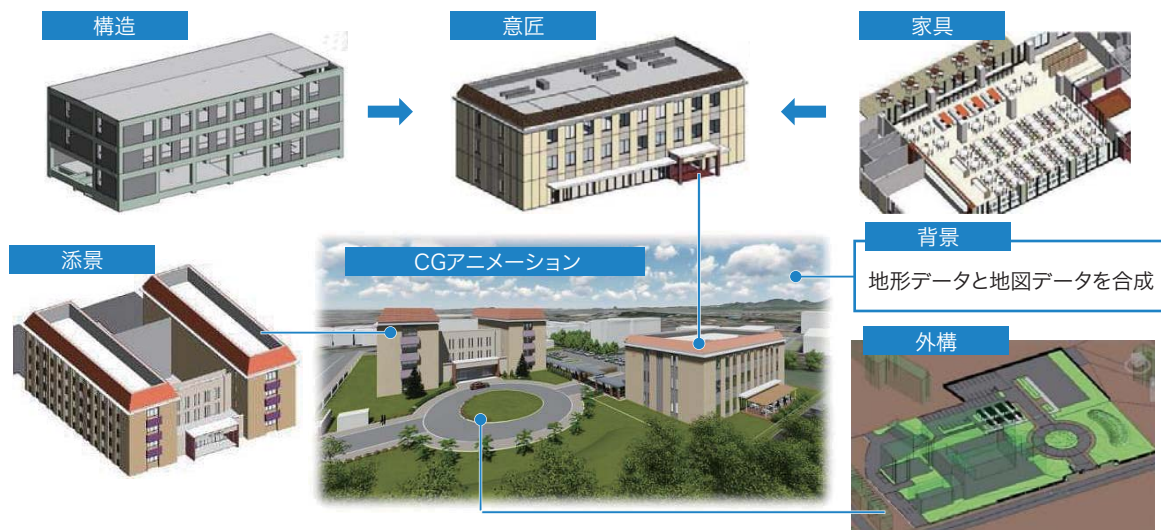
これからの建築の生産プロセスは、社内に限らずお客様をはじめとする様々な関係者の方々と情報共有しながら進める「見える化」が急速に進んでいくと考えています。

「見える化」への対応として、設計統轄部の BIM チームが中心となって基本設計から実施設計までの各設計フェーズで活用しています。

●設計から施工・維持管理までの活用

BIM による「見える化」の効果は、関係者間のコミュニケーション、合意形成のための時間を大幅に削減することが出来ます。今後もお客様の期待に応える品質の提供を目指し、建築の企画から設計・積算・発注・施工・維持管理まで一貫した建築生産プロセスで BIM の活用を推進します。

(BIM : Building Information Modeling)



データ連携による短期間でのコンペ検討



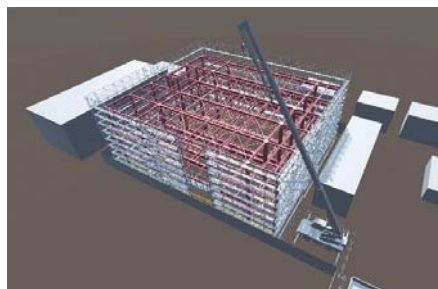
LivingCG社主催 Lumionコンペ2015入選



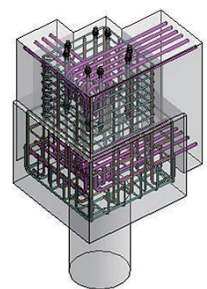
物流施設の外観検討



完成予想パース



施工段階でのBIM活用・鉄骨建方計画検討



柱脚部納まり検討



ICT活用 効率化 時間短縮

施工段階におけるタブレット端末の活用

石井 亮太 東京支社 建築支店 建築部(ロジスクエア浦和美園新築工事)

●配筋検査アプリの活用

配筋検査専用のアプリを活用しています。構造図をタブレットで確認でき、内蔵カメラにより電子黒板を使用した配筋写真が撮影できるため、カメラ・黒板・記録用紙・構造図を持ち歩く必要がありません。また、防水ケースを使用しているため、雨天時でも使用できます。

タブレットひとつで検査できるため、通常2時間かかっていた3×4スパンの配筋検査を1時間で終わらせることができました。検査内容をサーバーで共有できる点も有効で、その他にも担当者間の検査状況の確認、記録内容の確実な保存と紛失防止に役立っています。



タブレット端末の活用

ICT土工の推進

ICT活用 効率化 時間短縮

●ドローンによる測量と土量計算

これまで土工のための土量計算は、人為測量による平均断面法等により算出していましたが、ドローンを使って高精度かつスピーディーに算出できるようになっています。

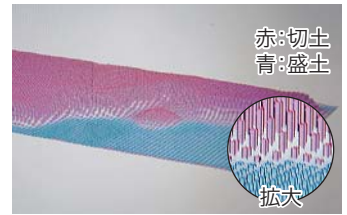
設定したルートで自動飛行させたドローンの空撮画像から、画像分析ソフトで、複数の点群データ(3次元座標を持つ点)を作成し、その点群データから土量計算ソフトで瞬時に土量を高精度で算出することができます。

●マシンガイダンス(MG)技術

MG技術は、人工衛星から送信される電波を利用する全地球測位システムによりブルドーザや振動ローラ等の施工機械の位置や施工情報を取得し、施工箇所の現地盤データと設計データとの差分を算出して提供し、オペレータ(操縦者)の操作をサポートする技術です。



ドローンによる写真撮影



点群データから土量算出



ブルドーザでの活用



コントロールボックス

CIM活用による施工管理の見える化

ICT活用 見える化 相互監視

●CIM活用による施工管理の「見える化」

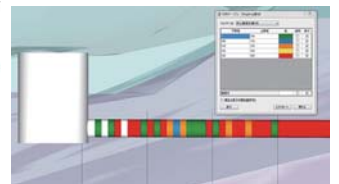
トンネル掘進部の地形・シールド線形を3次元でモデリングしておき、掘進データ(出来形・切羽水圧・排土量・トルク・裏込注入量等)の計測数値を5段階に色分けし、3次元化表示することにより、掘進管理の見える化を図り、トラブル防止に役立っています。

●現場と本社の相互監視

各種機械に搭載したセンサーの管理モニターを事務所内の中央制御室(管理室)と坑内のシールドマシンの運転席の2箇所に設置し、監視しています。また、東京の本社部門にも監視モニターを設置し、インターネットを介して掘進データをリアルタイムで共有し、相互に確認しています。



地形・土質・線形のもデリング(3D)



施工管理データを色付け



管理室での掘進管理モニター



本社でのモニター管理

BRIDGESTONE TIRE MANUFACTURING VIETNAM LLC

大型生産施設 ブリヂストン ベトナム工場



ベトナムで日本と同様の品質を提供

近藤 修 国際支店 統轄作業所長

●ベトナムでの大型生産施設の施工

本工事は、ベトナム社会主義共和国北部の港町であるハイフォン市（ハノイの西100km）のディンブー工業団地に株式会社ブリヂストンの大型工場を建設する工事です。

ハイフォン地区は、高速道路も順次整備され、ハイフォン港は、ターミナル増強工事も行われており、ベトナム北部最大の貿易拠点港になっています。

●日本と同等の品質確保

材料および作業員は現地で調達しましたが、品質確保の一例として、コンクリートの打設は日中は気温が高く、道路が渋滞するため基本的に夜間に行いました。型枠内の清掃・鉄筋のかぶり・受入検査・打設方法等の品質確認のため、当初は明け方までかかっていました。そこで、日本のチェックリスト等をベトナム語に訳し、日本と同じ管理手法で検査・是正をし、同じ方法で全数写真を撮り、日本人エンジニアが確認しない限りコンクリート打設は絶対不可という工程内検査の手順を繰

り返しました。その効果により、品質管理の考え方が浸透し、日本同等の品質を確保することができました。

●ベトナム人スタッフの活躍

ベトナム人は勤勉な国民性ですが、時間を守る習慣はあまりなく、初めは常に遅れた言い訳を繰り返していました。そこで現場のエンジニア・作業員全員に守ってもらう方針として

1. ズーベーシン（きれいにしよう）
2. ズーライフォア（約束を守るう）
3. ルンチャオホイ（あいさつをしよう）



朝礼での合言葉唱和

を合言葉にして、全関係者が毎日唱和して工事を進めました。

コミュニケーションにおいては日本国内の当社作業所で研修を済ませ、日本語を習得した3名のベトナム人スタッフが工事・工務・図面のそれぞれの要となりました。

毎日1,000人、多い時には1,500人も集まるベトナム人作業員に日々の工程管理から危険箇所の指摘、施工上の納まり等の複雑な内容の伝達に至るまで重要な役割を果たして活躍しました。



ベトナム人スタッフの活躍

生産施設の最近の実績

当社が得意としているカテゴリーの一つが生産施設の設計施工です。クリーン度が求められる工業製品の生産施設から、衛生管理が重要な食品工場まで、さまざまな生産プロセスに求められ

る要件に対して、永年の経験と実績で培ったノウハウを基にお応えしています。日本国内はもとより、海外においてもそのノウハウを提供しています。



江崎グリコ関東新工場



日新電機ベトナム社 2期工場



伊藤ハム取手工場



オチャイベトナム社 2期工場



スタンレー宮城製作所



三菱マテリアル直島金銀津センター



和菓子の万寿や 新工場



パスコ埼玉工場

(他社設計実績を含む)

●ゼニタカスタンダードの浸透

ほぼ毎日どこかの場所で片付けの悪さ・安全設備の不備等で作業中止命令を出し、そのたびに全員を集めての再教育・指導を繰り返し実施しました。現場確認のため、毎日平均 15,000 歩、10km 以上は歩きましたが、竣工間近にはベトナム人スタッフおよび作業員のレベルも向

上し、銭高組が提供する品質“ゼニタカスタンダード”を理解してくれたものと思っています。

●サッカー「ゼニタカカップ」の開催

ゼニタカカップと称して親睦のためのサッカー大会を 2 回開催しました。銭高組、サブコンのエンジニアチームなど 10 チームで予選リーグ、決勝リーグと戦い、当

社チームは 2 回の準優勝を飾り、全員で盛り上がりました。業務の都合上、試合開始時刻は夜 8 時からと遅い時間でしたが、ベトナム人スタッフは元気はつらつでした。

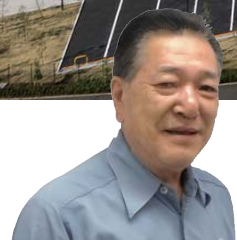
工事概要

施工場所 ベトナム社会主義共和国ハイフォン市
発注者 プリチストンタイヤマニファクチャリングベトナム社
構造・規模 RC 造地上 3 階建
完成 2016 年 7 月



サッカー「ゼニタカカップ」 準優勝

大型物流施設 グッドマンビジネスパークイースト



物流施設の床コンクリートの品質追求

長尾 正 東京支社 建築支店 建築部 統轄作業所長



エントランスホール



ラウンジ

●物流を核にしたビジネス拠点

当エリアでは、物流倉庫を核として、軽工場・組立工場・データセンターの他、ミニスーパー・カフェ・レストラン・託児所など、働く人々にとって魅力的なアメニティゾーンも備えた日本最大級のロジスティクス型ビジネスパークが計画されています。本工事は、その第一弾プロジェクトで、新たな時代に対応した物流スペースとして建設された施設です。

●快適な就業空間の創出

入居テナントの人手確保の課題に対応するため、これまでの物流施設とは一線を画し、エントランスホール・ラウンジ・ドライバー休憩室・化粧室に至るまで物流施設のイメージを変える魅力的なアメニティを備えており、テナントはもとよりドライバーにとっても快適な空間が創出されています。

●環境性能とBCP対応

環境配慮として、太陽光発電設備やLED照明、井水の利用など、環境技術を

多く取り入れ、自然エネルギーを積極的に活用することでCO₂削減に取り組み、建築環境総合性能評価システムCASBEE認証のAクラスを取得されています。

また、BCP対応として、全館に緊急地震速報が導入され、自家発電設備や衛星電話回線の設置、防災備品の備蓄、井水利用等により、災害時のインフラ途絶時もオペレーションを維持継続することが可能な施設になっています。

●6ヶ月間毎日コンクリート打設

工期短縮のため工区を4工区に分け、杭工事から上部躯体工事まで南側から北側に向けて4工区同時に施工を進めました。コンクリートの圧送車を東側と北側に配置して6ヶ月間毎日コンクリートを打設しました。内部仕上げ材の搬入は東側各階に開口を設け、各工程間の調整を行いながら同時進行で進めました。タイトな工程を計画的に手際よく進めたことで高品質な仕上がりを得ることができました。

物流施設の最近の実績

ネット通販市場の拡大や単身世帯の増加など、消費者の購買スタイルの変化に伴い、革新的な物流ネットワークが構築され、物流施設が進化を続けています。大量の配送物を短時間で処理

するための機能だけでなく、商品の保管・加工機能を備えた複合的な機能を有するなど、事業者の積極的な機能強化を豊富な実績で培ったノウハウで実現させています。



ロジスクエア八潮



三井不動産ロジスティクスパーク久喜



グッドマン水江



Landport柏沼南II



日本郵便 川崎東郵便局



福島県漁業協同組合連合会 小名浜冷凍冷蔵施設



センコー 仙台港PDセンター



中京倉庫 66号倉庫

●床コンクリートの品質

物流倉庫の命である床コンクリートの施工においては、当社の基準である「コンクリートのひび割れ防止対策指針」に沿って厳密に管理し、計画的に手際よく進めたことで高品質な仕上がりを得ることができました。

床コンクリートは初期における収縮を防止するため、膨張材を使用しています。膨張材の使用に関しては投入量、練り混ぜ時間の管理を徹底しました。コンクリート打設後は全面に散水を行った後、薄型のポリフィルムを敷き込み、5日間は乾きの無いように加水し、湿潤養生を実施し

ました。表面強化材は湿潤養生後に1回目を塗布、竣工前に2回目の塗布を実施しています。初期段階で表面強化材を塗布することで施工中の埃による汚れ等がコンクリート表面に浸み込みにくくなります。

物流倉庫は他用途の建築とは異なり、仕上げがほとんど無いため、打設した床コンクリートは、施工中に傷や汚れを付けない様、資機材の仮置き時の養生、床清掃を徹底しました。

また、最上階のコンクリートを最初に打設し、下階の床を雨打たれの心配のない状態で施工するよう工夫しました。理屈では分かっているが実際の施工では工

程を進めるために準備が出来たところから先に打設したくなるのを抑えて、設定した原則は絶対を守るという固い信念を持って施工しました。

品質に妥協せず丁寧につくり込んだ結果、竣工式では建築主の代表者様より「まぎれもなく世界最高の物流施設」とのお言葉を頂くことができました。

工事概要

施工場所 千葉県印西市
発注者 ライム特定目的会社
設計・監理 浅井謙建築研究所(株)
構造・規模 S造地上4階建
完成 2016年3月



湿潤養生



品質を極めた床コンクリート



南三陸病院・総合ケアセンター南三陸



工事概要

施工場所	宮城県本吉郡南三陸町
建築主	南三陸町
設計・監理	(株)岡田新一設計事務所
構造・規模	病院棟:RC造3階建 ケアセンター棟:RC造2階建 みなさん通り:S造
完成	2015年10月



被災地に元気と笑顔を届ける現場に

足立 浩一 東北支店 建築部 作業所副所長

●復興のシンボリック存在

東日本大震災で被災した公立病院を高台に移設し、南三陸町の医療・保健・福祉の拠点となる震災後最初の大規模公共工事でした。

県内はもとより国内だけでなく海外からも様々な方が視察に訪れ、職員一同がやりがいのある現場を任されたという思いで施工に携わりました。工事中は活気のある声の掛け合いを続け、南三陸町に元気と笑顔をお届けする現場となることを目指しました。

●木のぬくもりを感じられる空間

エントランスホールでもある「みなさん通り」は、鉄骨の柱と梁を耐火集成材で覆っています。また、施設建設に当たって山を切り崩した際に伐採された木材が内・外装材に使用されています。車寄せに大きくせり出したキャンピのルーバーは、地元産の杉材を使用したことで「みなさん通り」へと続くエントランス部分は木のぬくもりを感じられる空間となっています。病院内の額縁やカーテンボックス、

ケアセンターの木部などにも地元産の杉材を使用しています。

また、最上階の3階には各所にトップライトが配置されています。4床室はハイサイドライトを使用し、廊下側ベッドにも自然光が入る明るい病室になっています。

この他にも、太陽光パネル・外断熱工法の外壁等の様々な環境配慮技術の採用や、外部の腰壁に宮城県石巻市産の稲井石を使用する等、地産地消で町を活性化させる工夫も盛り込まれています。



木のぬくもりを感じられる「みなさん通り」



地元産の杉材による車寄せキャンピー



ハイサイドライトのある3階4床室

アーバンネット日本橋二丁目ビル



2016年度グッドデザイン賞受賞

工事概要

施工場所 東京都中央区日本橋
 建築主 NTT都市開発(株)
 設計・監理 日総建・NTTファシリティーズ
 建築設計共同企業体
 構造・規模 CFT造(一部SRC造)
 地下1階 地上10階建
 完成 2016年1月



交通量の多い都心部で事務所ビルを施工

緩利 良巳 東京支社 建築支店 建築部 作業所長

●自然光あふれる光ダクト

建物内に大型の光ダクトを設けることで事務室の4面採光が実現しています。また、事務室だけでなく、各階エレベーターホールや1階のエントランスロビーにも自然光を導いています。

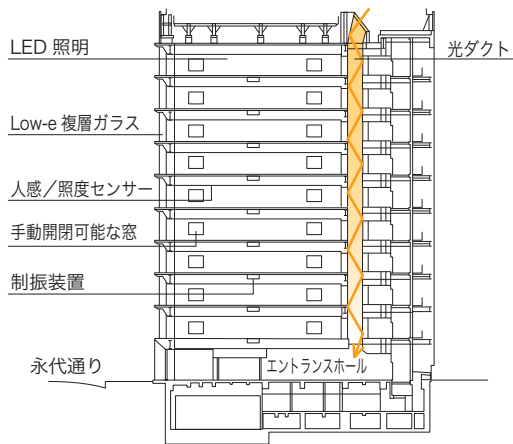
永代通りに面した北面は、Low-e 複層ガラスを使用したフルハイトサッシュで、北面からも安定した採光を得られるだけでなく、高い断熱性を有しています。

●伝統と格式を備えたビル

エントランスホールや外装には天然石をふんだんに使用しており、大きくせり出した庇など、歴史ある日本橋に建つオフィスビルとしての風格を備えています。内装は木調を多用し、光ダクトからの自然光以外は間接照明のみとすることで、エントランスロビーやエレベーターホールは明るく落ち着いた雰囲気となっています。

●交通量の多い都心部での安全確保

人や車両の交通量が非常に多い永代通り(国道1号線)から資材の搬入を行う必要があったため、2工区に分け、後で施工する工区を車両の乗り入れスペースとして使うことで、通りに搬入車両を停車させないよう工夫しました。また、後工区施工中は、光ダクトとなる吹き抜けスペースを荷揚げ動線として活用することで、外部からの資材吊り込み作業を減らしました。



建物断面図



エントランスと光ダクト



建物北面外観

奥漕道路 玉置口第二橋



工事概要

施工場所	和歌山県新宮市
発注者	国土交通省近畿地方整備局
設計者	パシフィックコンサルタンツ(株)
構造	PC2径間連続ラーメン箱桁橋
橋長	142m
幅員	8.2m
桁高	7.0~2.5m
完成	2015年4月



急峻な山岳地形の困難な施工条件を克服

櫻井 尚久 大阪支社 土木統轄部 土木部 監理技術者

●生活基盤となる悲願の道路

奥漕道路は、和歌山県の飛び地である東牟婁郡北山村から奈良県吉野郡十津川村に跨る国道169号線の改良事業です。

この区間の国道169号線は特に幅員が狭く、急カーブも多いために車両の離合も困難で通行に支障をきたしている状況でした。これらの問題を解消し、災害時や緊急時における交通機能を確認するとともに、地域間交通の安定性と利便性の向上による沿線地域の活性化のためにはなくてはならない生活基盤として整備が進められた地元悲願の道路です。



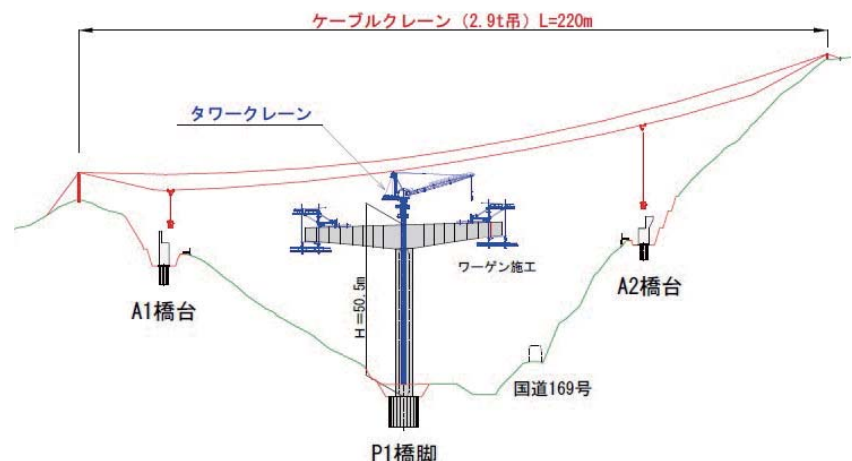
施工状況

●大幅な仮設計画の変更で工期を守る

本施工の特徴として、施工区域付近は急峻な山岳地形のV字谷に位置し、当然橋両端の橋台の施工箇所につながる道が無いだけでなく、地形的に工事用道路を確保することもできない場所での橋梁工事でした。“いかに橋台を施工するか”がこの工事における工程上の重要な課題でした。

当初計画では、中央の橋脚からワーゲ

ン施工により、張出完了後に橋面の上から両端部の橋台を施工することになっていましたが、この施工方法では張出完了するまで橋台の施工に取り掛かることができず、工期に間に合わせる事が難しいと判断しました。様々な検討の結果、V字谷にケーブルクレーンを設置し、橋脚および上部工張出施工と同時に橋台施工を進める施工方法を採用し、無事工期限内に完成することができました。



近畿自動車道紀勢線 日置川橋A1-P8



工事概要

施工場所	和歌山県西牟婁郡
発注者	国土交通省近畿地方整備局
設計者	㈱長大
構造	PC8径間連続中空床版橋
工事延長	277.7m
最大支間長	28.5m
幅員	20.15~34.52m
完成	2015年6月



「命の道」の整備を通じて地域に貢献

中山 美治 大阪支社 土木統轄部 土木部 作業所長

●早期の完成が待たれる高速道路

近畿自動車道紀勢線は、大阪府松原市を起点として三重県多気郡に至る京阪神と紀南を結ぶ幹線道路として整備されるものです。

紀南地域における現在の主要幹線であった国道42号線は、海岸線に沿ったカーブの多い路線であり、土砂や越波の影響を受けやすく、南海・東南海地震が発生した場合には複数の場所での通行止めが予想されていました。緊急支援・災害復旧のための国道42号線の代替ルートとして、また交通量の

分散化による日常的な渋滞緩和など、地元から早期の完成が期待されている高速道路です。

●工事車両増加への交通安全対策

紀勢線は和歌山国体の開催に合わせた開通に向け、紀伊田辺～すさみ間で集中的に90箇所の工事が発注された結果、周辺地域内のダンプ・トラック等の工事用車両が急激に増加しました。

工事を円滑かつ安全に進めるため、ダンプ安全運行協議会を立ち上げて車両の安全運行を重点的に管理し、交通安全対策を徹底しました。

●地元とのコミュニケーションを重視

また、地域住民とのコミュニケーションを深めるため、地元で緊急避難経路として指定されている丘陵への山道の整備や、町内の清掃活動、堤防の草刈り等の奉仕活動、地元行事へ積極的な参画により、非常に喜んでいただくことができ、地元地区の区長様から感謝状の贈呈を受けました。



オールステージング



円筒型枠(中空床版)



完成状況

街と街、心と心をつなぐ橋のかたち



(旧)瀬田唐橋(1922年)

武田信玄の遺言「瀬田の唐橋に我が軍旗を立てよ」で有名。当社の橋梁施工のはじまり。

1922（大正11）年に滋賀県瀬田橋梁架替工事（近江八景の瀬田の唐橋）を施工して以来、その時々の新技術・新工法を駆使して、全国で数多くの橋梁工事に携わってきました。

橋は、谷・川・海・交通施設等乗り越えるためのものですが、単なる構造物にとどまらず、新たな交通の動脈となり、わたしたちの生活にとってかけがえのない存在になります。

一つひとつの橋に込められた想いを大切に、経験で培った保有技術と、進歩し続ける新技術をもって携わってきた様々な橋の「かたち」の一部を紹介します。



吾妻橋(1930年)

関東大震災後の架け替え（橋脚部）を日本で初めてアメリカより導入した技術であるニューマチックケーソン工法にて施工。



勝鬨橋(1940年)

完成当時「東洋一の可動橋」と称された跳開橋。現在は可動部がロックされているが国の重要文化財に指定され、資料館も開館されるなど、単なる橋梁に納まらない知名度が高い橋。



東北新幹線 吾妻川橋(1978年)

吾妻川の渓谷美に映える「美しい橋梁」に主眼をおき、柱頭部を剛結合した当時の鉄道橋としては初めての構造形式。（土木学会田中賞）



関越自動車道 永井川橋(1985年)

赤城山麓に位置する60mを超える高橋脚を有する長大橋梁群の1橋。（土木学会田中賞）



北陸新幹線 屋代橋りょう(1996年)

鉄道橋としては世界初の4径間連続PC斜張橋。低い主塔が山並みの景観に調和。（土木学会田中賞）



くじら橋(1997年)

橋梁断面が舟底型で、ユニークな形状をしたオブジェ的な歩道橋。（土木学会田中賞）



宮川大橋(1998年)

道路橋としては初めての中路式コンクリートアーチ橋。湖面に映る橋の姿は絶景。



隅田川橋りょう(2005年)

常磐新線とJR常磐線が隅田川を跨ぐ鉄道橋。東京メトロ日比谷線と近接した狭隘な場所での施工で、工事桁送り出し架設とクレーン跳ね出し架設で施工。

ウガンダ共和国 ジンジャ・ナイル架橋(施工中)



完成予想図 ㈱オリエンタルコンサルタンツグローバルより提供



施工中の主塔



ジンジャ橋は、ウガンダ共和国ジンジャ県においてビクトリア湖を水源とするナイル川の源流から2.5kmの位置に架設される橋長525mのPC3径間連続斜張橋であり、日本国内において同形式最大支間長となる矢部川大橋の最大支間長261mを超える290mの支間長の長大斜張橋です。

本橋はウガンダの首都カンパラから東へ約80kmのジンジャ県に位置し、ケニアのモンバサ港とカンパラを結ぶ北部回廊の一部として整備され、ウガンダだけでなく東アフリカ地域各国の農業・産業振興や貿易・投資の拡大を促すことが期待されています。

現在は、主塔と主桁を施工中です。

工事概要

施工場所	ウガンダ国ジンジャ県
発注者	ウガンダ国国家道路公社
設計	オリエンタルコンサルタンツ JV
構造	PC3径間連続斜張橋(上下部工)
橋長	525m
完成	2018年4月



東北新幹線 三内丸山架道橋(2008年)

東北新幹線の八戸～新青森間に位置する鉄道橋。新幹線橋としては現在最大の支間長(150m)。(土木学会田中賞)



ラオス ヒンフーブ橋(2010年)

ラオスでは初めての施工となる押し出し架設工法を採用し、その橋梁技術を同国に移転することで国際貢献の一端を担った事業。



夢翔大橋(2010年)

奈良県五條市に建設したエクストラードロード橋。平面曲線に対応するため、主塔がY字形に開いた形状。



フルミ大橋(2010年)

沖縄フルミ海峡を跨ぐアーチ橋。合成鋼管アーチ巻立て工法では国内最長のスパン(210m)。



圏央道 金田高架橋(2013年)

橋長が1kmを超えるS字型をしたプレストレストコンクリート高架橋。1kmの間に継ぎがなく、国内最多径間(34径間)の大型高架橋。



京都縦貫自動車道 由良川橋(2015年)

京都市と天橋立を結ぶ京都縦貫自動車道の橋梁。分離された上下線の主桁が1本の橋脚に接合され特徴のある形状。

土木学会田中賞：橋梁・鋼構造工学での優れた事業に対し授与される賞。名称の由来は、首都復興に際し、永代橋・清洲橋といった名橋を生み出した田中豊博士に因んだもの。

ゼロ災害をめざして

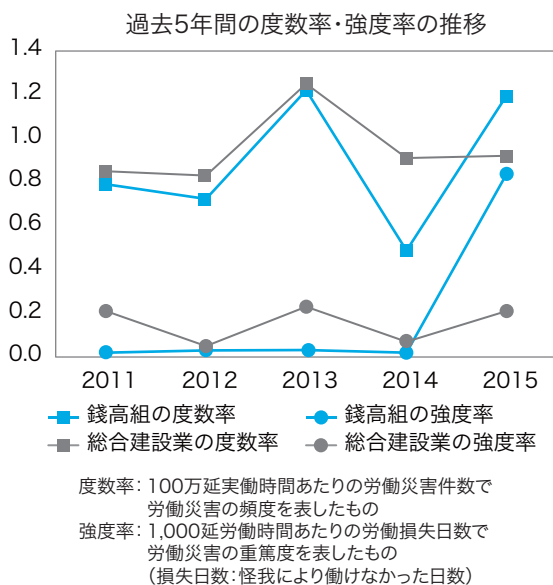
安全な職場環境のために

銭高組安全衛生基本方針に掲げた「人間尊重」を基本理念として、危険ゼロで安全で快適な職場環境作りをめざすため、建設業労働安全衛生マネジメントシステム（COHSMS：通称コスモス）を導入し、ソフト面で活動を支援しています。

また、センサー技術を活用して、ハード面からも労働災害の防止に努めています。

安全成績

2015年度は、度数率・強度率共に昨年度より悪化しました。これは、不休災害を含む労働災害の発生件数はほぼ昨年と同じでしたが、休業4日以上の労働災害が、2014年度の5件に対して2015年度は11件に増加したことに起因しています。さらに休業4日以上の労働災害の型別で見ると「激突」が3件、「はさまれ・まきこまれ」、「墜落・転落」「転倒」災害が各2件ずつ発生しています。さらにこれらの原因を調べると滑ったり、つ



2015年度安全衛生重点目標

下記の重点目標を設定し労働災害防止に努めました。

1. 墜落・転落災害の防止
2. 移動式クレーン・杭打ち機・重機械等災害の防止
3. 火災災害の防止
4. 解体工事における災害の防止
5. ずい道工事およびシールドトンネル工事における災害の防止
6. 熱中症防止対策の徹底
7. 社員の心の健康保持対策の実施

まずいたりして被災していることが多いことがわかりました。これは、作業員の高齢化による反射神経や身体能力の低下によるものではないかと考えています。今まで気にしていなかった小さな段差の解消や滑りやすい場所の改善、「見える化」等を進めてまいります。また、これらの状況を反映して、2016年度の重点目標には、「転倒災害防止」を加えて活動しています。

2015年4月に墜落死亡災害が発生しました。被災者の方のご冥福をお祈り申し上げると共に、ご家族へのお悔やみを申し上げます。より一層、高所作業での安全設備の充実および安全衛生管理を徹底してまいります。

2015年度に発生した労働災害の型別と件数(不休を含む)

労働災害の型別	労働災害の型別(件)
高温・低温の物との接触	14 (1)
切れ・こすれ	9
はさまれ・まきこまれ	8 (2)
激突	7 (3)
墜落・転落	4 (2)
転倒	4 (2)
飛来落下	4
動作の反動・無理な動作	4
激突され	1 (1)
その他	1
計	56 (11)

※()内は休業4日以上の労働災害を示す

安全衛生パトロール

支社・支店では、作業所に対して社員が実施する安全衛生パトロールや協力会社で構成する安全衛生協会によるパトロールを実施し、作業所の社員では気付かない危険箇所について、パトロール員の目でチェックし、改善を行っています。

また、各支社・支店および作業所に対して本社安全環境部による安全衛生・環境監査を実施し、支社・支店や管下の作業所の安全衛生活動の実施状況の確認・指導を行っています。

パトロールや監査の指摘を収集・分析し、次の安全衛生活動に活かしています。

2015年度安全衛生パトロール等実績

種別	対象部署数	指摘数(件)
安全衛生パトロール	531	1,549
本社安全衛生監査	40	199

社会保険加入促進

将来の建設業を担う若手の技術者が安心して仕事に就けるように、各種社会保険の加入について業界全体で取り組んでいます。

当社も協力会社の方々と社会保険加入推進に向けた国土交通省の「社会保険の加入に関する下請指導ガイドライン」および日本建設業連合会の「社会保険加入促進要綱」に基づき、勉強会や推進に向けての課題について協議を重ね、加入率の向上に努めています。

安全衛生教育

安全衛生管理技術の向上と継承を目的に安全環境部署および工事部署による安全衛生教育を実施しています。また、作業所において、工程に合わせた安全衛生教育や自社・他社の災害事例等を活用した教育を行っています。

2015年度安全衛生教育実績

	人数
安全衛生教育	321



安全衛生教育



安全の誓い



安全衛生推進大会



命と安全を守るセンサー技術の活用

丸山 達彦 大阪支社 土木統轄部 土木部(東海道線支線北2地区T新設他工事)

大阪駅周辺の再開発工事に伴い、うめきた地区の西端地上を南北に走行している現在の営業線を地区の中央に移設し地下化する工事を施工しています。

建設工事に使用している重機械（ショベルカー等）は、普通の乗用車等に比べて、オペレーター（運転者）から死角になるエリアが大きく、作業員のまきこまれ災害や接触事故が起きる可能性があります。それらを無くすため様々なセンサー技術を活用して安全管理に取り組んでいます。

●接近警報・検知システム

狭隘な地下掘削作業でのまきこまれ災害や接触事故を防止するために、「接近警報・検知システム」を活用しています。

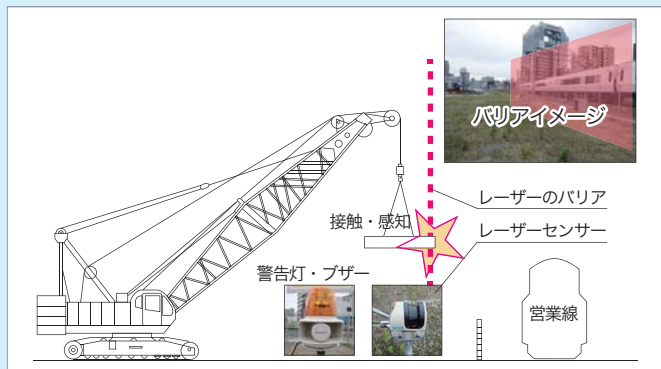
このシステムは、作業員にセンサーを取り付け、重機作業の危険エリアに作業員が入った場合は、作業員およびオペレーター双方に警報で危険を知らせ、事故を未然に防止する安全補助システムです。

●作業領域管理システム

当作業所のすぐ隣を営業線が走っています。このため、クレーンで吊った資材が営業線エリアに入ってしまうことを防止するため「作業領域管理システム」を活用しています。これは、面で障害物を検知するレーザーのバリア（半径約80mエリア）を張り、吊った資材がバリア面に接触すると、警告灯とブザーで知らせるシステムです。



作業所全景



作業領域管理システム

環境への配慮

マテリアルフロー

建設工事を進める過程においては、環境に対して様々な影響を与えます。これらの環境影響を最小限にとどめるため、環境マネジメントシステムに基づき、環境保全活動を実施しています。

その中でも、特に建設廃棄物の削減と温室効果ガス（CO₂）の削減について、全社統一の目標を掲げて取り組んでいます。

INPUT

投入エネルギー

電力	808.4 万kWh
化石燃料	5,301 kℓ

主要投入資材

生コン	50.4 万t
鋼材	24.0 万t
碎石	1.3 万t

主なグリーン調達品

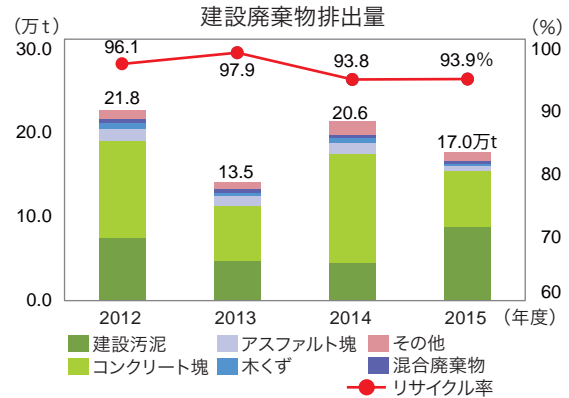
形鋼(電炉)	11,459 t
高炉セメント	9,416 t
フライアッシュセメント	225 t
エコセメント・コンクリート製品	50 t
透水性舗装	17,681 m ²
再生アスファルト合材	14,664 m ³
スラグ路盤材	80,212 m ³
再生碎石	50,607 m ³
再生砂	934 m ³
再生安定処理土	11,427 m ³
流動化処理土	4,500 m ³
土壌改良(固化)材	8,613 m ³
代替型枠(打込み型枠等)	48,407 m ²
断熱材(グラスウール・ロックウール)	71,302 m ²
パーティクルボード	29,671 m ²
木質系セメント板	13,466 m ²
エコクロス	22,284 m ²
石膏ボード	192,188 m ²
岩綿吸音版	15,039 m ²
塩ビ系床材	42,901 m ²
再生硬質塩ビ管	1,538 m
断熱サッシ・ドア	1,793 枚
ガスヒートポンプ冷暖房機	48 台
LED照明器具	19,862 台
太陽光発電システム	4,751 kW
日射調整フィルム	1,774 m ²
屋上緑化・壁面緑化	435 m ²

OUTPUT

CO ₂	1.8 万t-CO ₂
建設廃棄物	17.0 万t
アスファルト塊	0.6 万t
コンクリート塊	6.3 万t
木くず	0.3 万t
建設汚泥	8.5 万t
混合廃棄物	0.3 万t
その他	1.0 万t
最終処分量	1.0 万t

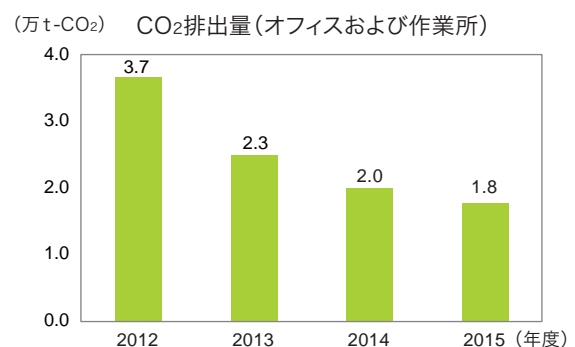
建設廃棄物削減

2015年度の建設廃棄物排出量は前年度比17%減の17万tでした。これは、解体工事が少なかったためコンクリート塊の排出量が減ったことによるものです。建設汚泥の排出量が大幅に増加しているのは土木のシールド工事の増加によるものです。



CO₂排出削減

2015年度は、土木のシールド工事等が比較的多く、電気使用量は増えてきましたが、化石燃料使用が相対的に減少したことがCO₂削減の要因です。



環境会計

(単位:百万円)

区分	項目	2011	2012	2013	2014	2015
1	事業エリア内環境保全コスト ①公害防止コスト	1,057	731	721	705	707
	②地球環境保全コスト	292	330	335	304	318
	③資源循環コスト	1,802	1,755	1,492	2,084	2,289
2	上・下流コスト	30	23	20	12	12
3	活動管理コスト	186	185	183	121	169
4	研究開発コスト	87	89	75	60	60
5	社会活動コスト	52	50	51	48	53
6	環境損傷対応コスト	7	8	9	8	8
		3,513	3,171	2,886	3,342	3,616

1. 資源循環コスト (有害化学物質)

解体工事に際して、アスベスト除去は、事前調査を行い周囲への飛散対策を実施し、適切に処分しています。

2. 上・下流コスト (環境配慮設計)

年間6件のCASBEE手法を計画ツールとして取り入れて環境配慮設計に活かしています。物件ごとの諸条件に対して有効な環境技術の採用検討や展開を図っています。

3. 活動管理コスト (環境マネジメントシステムおよび教育)

ISO14001に基づき外部審査機関の審査をはじめ、本社環境監査、支社店環境パトロールを実施し弱点を見つけ改善を図っています。

4. 研究開発コスト

土木ではトンネル工事のエネルギーマネジメントシステム、発破低周波音低減装置、建築では ZEB (ネット・ゼロ・エネルギー・ビル) 評価ツールの開発等を実施しました。



FSC® 全体プロジェクト認証建物の事例

小野 正人 東北支店 建築部 作業所長(南三陸町役場・歌津総合支所新築工事)

●南三陸町の環境配慮への取り組み

東日本大震災で甚大な被害を受けた南三陸町は、復興計画の立案にあたり、人と環境にやさしく災害に強いまちづくりを目指した「南三陸町バイオマス産業都市構想」を策定されました。同町の豊かな森の整備は、木材やエネルギーの入手だけでなく、里や海の豊かな恵みにつながるという考えから、1,314ヘクタールの山林を対象として南三陸森林管理協議会がFSC森林認証を取得されています。

同町では、海の環境を守り、働き方にも配慮したカキ養殖場でASC認証を取得されており、海と山の両方で国際的な認証を取得し、環境に配慮されています。

●当社の支援体制

現在施工中の南三陸町役場・歌津総合支所新築工事は、低層棟の梁に使用する集成材をはじめ、無垢内装材、家具等に町産のスギ材を多く使用した温もりのある施設です。当工事の木工事においてFSC認証材を100%使用し、建築物そのものを認証するしくみである「FSC全体プロジェクト認証」の取得を南三陸町が目指されています。当社は、関係者相互の協力により、プロジェクトグループ規約の作成、加工・流通過程の取り扱い手順書の作成、円滑な実施のための教育、マニュアル順書の指導・指示、材料選定から施工まで関わっています。

FSC認証 (Forest Stewardship Council®森林管理協議会)
環境・社会・経済に配慮した森林の望ましい管理方法とその森林に由来する製品を認証する森林認証制度

ASC認証 (Aquaculture Stewardship Council 水産養殖管理協議会)
環境に大きな負担をかけず、地域社会にも配慮した養殖業とその養殖場に由来する製品を認証する水産認証制度



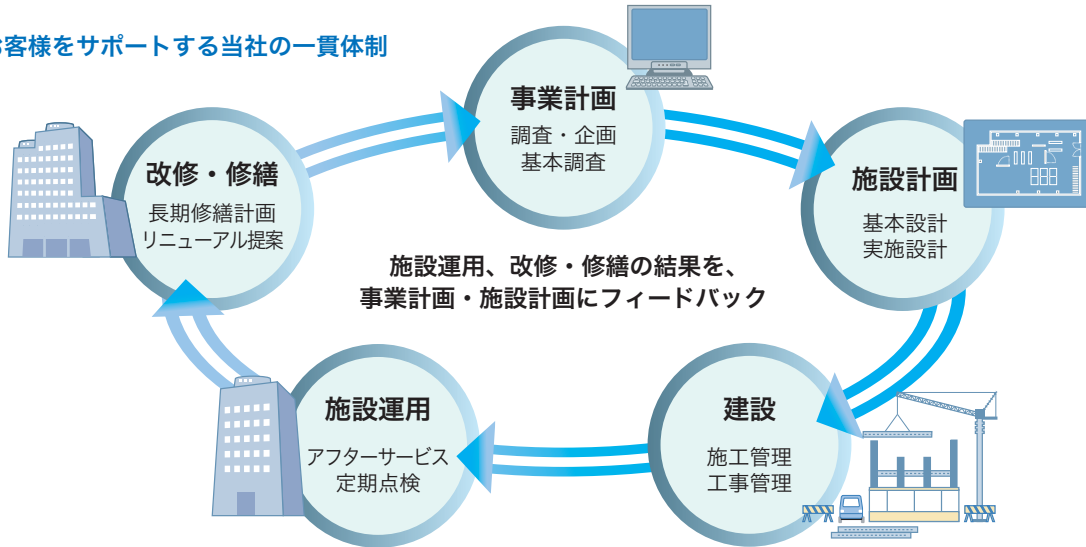
南三陸町役場完成予想パース

お客様の期待に応える品質の提供

品質方針と品質マネジメント

「顧客から認められ求められる品質を、タイムリーに、経済原則にのっとり提供する」を品質方針に掲げ、営業・企画段階から施工、アフターサービスまで一貫した品質マネジメントシステムを活用し、お客様の期待に応える品質の提供と、アフターフォローを実践しています。

お客様をサポートする当社の一貫体制



お客様の期待に応える品質の提供

品質を支える取り組み

- 受注工事引継会**
 - ・工事着手時に営業・積算・施工・技術支援・その他の関連部門が一堂に会して情報を共有
 - ・お客様からのご要望を踏まえた重点品質管理項目等の基本方針を決定
- 作業所プロジェクト会議**
 - ・工事着手後に毎月開催し、店内の支援・指導体制を継続
 - ・作業所と店内の関連部門で、基本方針に沿って工事が進捗しているかを相互監視
- 品質パトロール**
 - ・工事部署による定期的な品質パトロールで施工プロセス管理の実施状況をチェック・指導
 - ・同類の不具合の発生が予想される指導事項は、全国の工事部署に速やかに水平展開
- ハブセンター情報**
 - ・施工中・引渡し後のミス・トラブル発生情報は、直ちに「ハブセンター情報」として全社で共有
 - ・データ化して蓄積した情報を、社員教育や工事着工前の検討会で水平展開し再発を防止
- 技術立社フォーラム**
 - ・技術系社員だけでなく営業や事務系社員を含む全役職員が新技術・創意工夫等を学ぶ場
 - ・全国7拠点をテレビ会議システムでつなぎ、建築分野・土木分野ごとに毎年開催
- 協力会社との連携**
 - ・協力会社の経営評価・施工能力評価と計画発注等による優良な協力会社の安定確保
 - ・特色ある作業所見学会、講師を招いての研修会、社会保険加入推進に向けた勉強会等の開催



品質パトロール



技術立社フォーラム

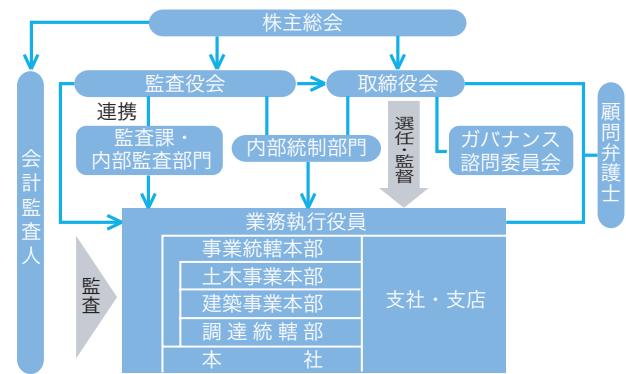


協力会社との見学会

社会から求められる企業であり続けるために

コーポレート・ガバナンス

当社グループのコーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方は、「社是」「経営理念」のもとに、顧客満足の獲得と収益力の強化により企業価値を高めていくという経営方針を実現するため、経営上の組織体制や仕組みを常に点検整備し、必要ある施策をスピーディーに実施することにより、すべての役員が、高い倫理観に基づいたコンプライアンス経営を実践することです。すべてのステークホルダーの利益を重視した経営を実践するため、適時適切に企業活動の情報開示を行っています。



コーポレート・ガバナンス体制

取締役会

取締役会は、2016年6月末現在6名（うち、社外取締役1名）で構成し、原則月1回開催するほか、必要に応じて適時開催し、法令に定められた事項や経営に関する重要事項を決定します。なお、経営責任を明確にするために取締役の任期は1年としています。

監査役会

監査役制度を採用しており、監査役は取締役会やその他重要会議への出席などを通じ、取締役の職務執行の監査はもとより、広く業務執行状況の監査を実施しています。

監査役会は、2016年6月末現在4名で構成し、うち3名は社外監査役です。

執行役員

2003年6月から執行役員制度を導入し、2016年6月末現在20名が選任されています。業務執行に伴う事業年度ごとの成果責任を明確にするため、執行役員の任期は1年としています。

内部統制システムの構築

リスクの未然防止や事前対応をはかるべく、「内部統制に関する基本方針」を定めています。2008年4月より施行された「財務報告に係る内部統制報告制度」への対応を含め、内部統制の強化に向け、すべてを予測可能とし、危機・リスクに対する感知能力の向上を目指した組織体制の構築ならびに社内風土の醸成に努めています。

内部通報制度

会社またはその役員による法令違反行為や会社の諸規則・規定等違反行為を防止または是正するとともに、通報者の保護を図ること、および違反行為等の早期発見とその是正、解決を通じて当社のコンプライアンス経営に資することを目的として、「内部通報者保護規定」を制定し、更なる企業統治の強固に努めています。

ガバナンス諮問委員会の設置

社会倫理、社会規範、定款、社内規則、規定等に基づいた企業活動の健全性を確保するため、業務執行機関から独立した「ガバナンス諮問委員会」を設け、あらゆる問題について原因を究明し、結果を水平展開して全役員にコンプライアンスの徹底を図っています。

内部監査

内部監査については、監査計画に基づき、監査課・内部監査部門が、監査役と連携し、合法性と合理性の観点から業務の執行状況や諸制度の運用が適正に実行されているかを検証するため、業務全般にわたる監査を実施しています。

情報セキュリティの強化

「電子情報取扱規定」を制定し、不正なアクセス、コンピュータウイルス、ホームページの改ざん、社外への情報漏えい、社内ネットワークの長期停止等といった情報セキュリティに関する脅威から情報資産を保護し、脆弱性を排除しています。

技術的な強化策として、①作業所では暗号化通信を行い、本社との安全な接続環境を実現、②パソコンの盗難対策として、ハードディスクを暗号化し情報漏洩対策を推進、③標的型攻撃メール対策として、外部との不正通信を遮断するセキュリティシステムを導入、④資産管理ソフトを活用し、情報漏洩や不正アクセス対策を実施しています。

情報セキュリティの教育

毎年、全役員を対象に、情報セキュリティ・リテラシー教育のeラーニングを実施し、同時に行う理解度テストにて効果を確認しています。

近年は特定組織や企業を狙った「標的型攻撃メール」により、重要情報を窃取されるサイバー攻撃が増大しています。当社では、全役員に疑似的な「標的型攻撃メール」への対応訓練を実施し、情報セキュリティに対する意識向上に努めています。

法令を順守した事業活動

コンプライアンスの徹底

コンプライアンスが企業の社会的責任の基本であり、企業存続の根幹をなすものであるとの認識のもと、法令違反や不正を防止する社内体制の強化や全役職員の意識向上等、すべての面においてコンプライアンスの徹底を図っています。

全役職員が日常行動において法令を順守し、建設業の発展に寄与するため、下記の「行動規範」を定めています。

1. 建設産業の健全な発展に寄与するため、建設業の構造改善の推進について積極的な取り組みを行う。
2. 企業倫理を確立し、法令に違反する行為を排除し、公正な競争が維持される建設市場の環境整備に努める。
3. 生産性の向上、技術力の錬磨、人材の育成等広い範囲にわたって不断の経営努力を重ねる。
4. 建設業法や独占禁止法等の関係法令の順守に努め、公正な企業活動を行う。

反社会的勢力の排除

反社会的勢力とは一切の関係をもたず、反社会的勢力から不当要求がなされた場合には、これを拒絶します。

反社会的勢力排除のため、以下の施策を実行しています。

1. 対応統轄部署を総務部に、不当要求に対する相談窓口を全国の支社・支店庶務課に設置しています。
2. 「企業が反社会的勢力による被害を防止するための指針」を全役職員に周知徹底し、企業価値の向上を図っています。
3. 警察、全国暴力追放運動推進センター等と緊密な連携関係を構築し、企業防衛協議会等に加入し、暴力団排除活動に参加するとともに、反社会的勢力の情報を収集し活用しています。
4. 反社会的勢力が協力会社となって不当要求や利益を得ることを防止するため、反社会的勢力の経営関与および交際関係があった場合、直ちに契約を解除する旨の専門工事基本契約書を協力会社と締結し、排除の徹底を図っています。

個人情報の適正な管理

個人情報を適切に管理することは企業の社会的責任であるとの認識のもと、「特定個人情報（マイナンバー）等取扱規定」および「個人情報保護規定」を制定して、個人情報を適正に管理しています。

当規定に則り、毎年、全役職員を対象に、個人情報保護法の教育をeラーニングで実施し、同時に行う理解度テストにて効果を確認しています。一人ひとりが個人情報保護法についての知識を増やし、意識を変えることで被害を未然に防いでいます。

公正な調達の推進

「社は」「経営理念」のもと、調達業務に関する具体的な内容を定めて活動を行っています。

一定額以上の取引契約物件については専門工事会社3社以上に設計図書・参考内訳書・見積り条件を提示し、見積りを依頼します。その上で各専門工事会社にヒアリングを行い、選定された協力会社と工事請負基本契約を取り交わし、注文書・注文請書および見積り条件書に基づき、図面・仕様書・その他の図書に則って、信義を守り誠実に契約を締結し履行しています。

また、工事完了時に作業所長が「施工管理」「原価管理」「工程管理」「安全衛生管理」「作業所管理」について、協力会社と職長の評価を行っています。評価結果は協力会社評価システムに蓄積し、協力会社選定時にフィードバックすることにより、最も適した協力会社の採用を行っています。

独占禁止法の順守

2003年4月に「独占禁止法順守に関する業務要領」を制定し、独占禁止法研修指導者による研修を行っています。



コンプライアンス教育

インサイダー取引の排除

1989年4月に「内部者取引の規制および内部情報の管理に関する規則」を制定し、会社の重要な情報に容易に接することができる役職員が、その情報が公表される前に株式等を売買等することを禁止するとともに、当規則を周知徹底するため、研修を行っています。

外国人労働者の適法な就労のために

建設業では近年、外国人の就労者が増加しています。多くは、外国人技能実習制度等を利用して適正に就労していますが、中には就労資格がない者も含まれている場合があります。不法就労者が作業所に入らないように新規入場する外国人には就労資格と在留カードの確認をしています。また、協力会社と連携し、不法就労撲滅を実施しています。

人材育成とキャリア開発

資格取得推進

建設現場においては資格を有していなければならない業務・作業が多くあります。また、管理部門においても法律や経理などの高度な専門知識が求められる業務が増えています。当社では、資格の取得を自己啓発の一環として推進しており、一級建築士や技術士、一級施工管理技士、宅地建物取引士などの指定資格を取得した際には祝金を支給しています。

自己申告制度

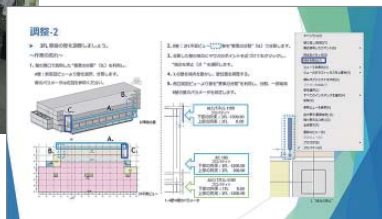
全役職員が、各人が希望する業務・勤務地、海外勤務の意思などを年1回申告登録しています。この申告により、希望者を優先的に適材適所に配置することが可能となり、配置転換に関しては満足度の高いものとなっています。

BIM教育

社員への BIM 教育としては、自社仕様の BIM テンプレート、自社製の講習テキストや解説動画などを用いて BIM スキルを習得するため集合教育と個別教育を行っています。教育を通じて、BIM データを活用した設計情報の共有化を推進しています。



BIM教育



BIMテキスト

社内FA制度

社員一人ひとりが保有している能力の発揮と、それによる組織の活性化を目的として、自らをアピールし、希望業務に挑戦できる制度を設けています。この制度は、FA宣言した人の努力や熱意をしっかりと確認したうえで、部署異動を検討します。

職種・階層別教育研修

技術系社員を対象にした職種・階層別教育研修では、品質・工程・安全・環境・原価などの専門教育を行うことにより、作業所長としての心構えや現場管理能力を備えた人材を育成します。また、座学による知識修得だけでなく技術者としてのノウハウ・知恵をつけるための教育として、現場での実地研修を行うこともあります。



職種別教育



海外研修に参加して

森 昌之 東京支社 建築支店 営業第二部

2016年4月に実施された国内営業マンの海外研修に参加しました。全国の支社・支店から選抜された6名の営業マンが参加し、銭高会長とともに当社海外戦略拠点であるベトナムでの5日間の研修です。現地の文化や慣習に触れ、お客様の声、当社の施工実績、各地域における工業団地の状況や進出企業の動向を肌で感じる事ができました。研修の成果を営業活動に生かし、国際支店との連携強化により、海外案件の情報を拡大して受

注につなげていくことが研修に参加した私たちの使命だと感じています。



訪問先にて



多様な人材の活用

労働環境づくり

建設という“ものづくり”の現場を支えているのは機械やロボットではなく“ひと”であり、人から人へと技術は伝承されてきました。「会社がもつ最大の財産は人である」という基本的な考えのもと、社員一人ひとりが、日々の業務にやりがいを持ち、生き生きと働くことができる労働環境づくりに努めています。今年度は特に、「中期経営計画」の基本戦略においても「優秀な人材の確保・育成による組織の強化」を第一に掲げて取り組んでいます。また、社員各人の能力向上を目指した教育研修を行うことで、当社の高い技術力やものづくりに対する情熱をさらに高めています。

人材の多様性(ダイバーシティ)推進

早くから年功序列を撤廃し「実力主義」を導入しています。前向きな人材を活かす風土を実現しており、年齢や性別、学歴に関係なく、若手や女性社員にもチャンスを広げ、社員一人ひとりの能力・成果を反映した公正な処遇を実現しています。

障がい者雇用

同じ職場で働く仲間として障がいを持つ従業員が様々な業務に従事しています。当社では障がい者雇用を促進し、法定雇用率(2.0%)を順守しています。

グローバル人材の活用・雇用拡大

将来、当社における海外事業の中核となりうる外国人スタッフが日本で日本語の習得と、施工管理や工務・積算業務などの技術研修を行う外国人研修制度を導入しています。これまでにベトナム人エンジニア6名がこの制度を活用し、そのうち4名は日本での研修を経て、現在はベトナムで活躍しています。また、外国人採用にも積極的に取り組んでおり、中国人・マレーシア人・ベトナム人の採用実績があります。



創立式典で表彰されるベトナム人スタッフ

女性活躍推進法に関する取り組み

2016年4月施行の「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律(女性活躍推進法)」を受け、女性活躍推進に向けた行動計画を策定し、厚生労働省の「女性の活躍・両立支援総合サイト 両立支援のひろば」で公表しています。行動計画に掲げた「女性技術者採用の積極的展開」「一般職から総合職への登用」などをいっそう推し進めていくため、女性だけでなく男性を含めた会社全体の職場風土に関する意識の改革や制度(働き方)の改革に向けて取り組んでいます。



女性施工管理職のパイオニア

辰本 あん奈 東京支社 建築支店 建築部

1998年入社以降、マンション・学校・オフィスビル・公共施設など様々な用途の建築物の施工に携わり、二度の出産を経て、現在も現場で施工管理を担当している辰本社員に質問してみました。

Q1. 施工管理職を目指した理由は?

建築が好きで、建築に携わるなら実際に建設現場で自分の目で見て、手で触れて、建物づくりに携わりたいという思いから施工管理を志望しました。現場は私にとって未知の世界だったので、不安もありま

したが、大学の先輩で私と同様に小柄の女性が施工管理職に就いているのを知り、私にもできると思い志望しました。

Q2. 苦勞したことは何ですか?

たくさんあります(笑)。入社当初は、やはり女性ということもあり、周囲も遠慮がちでしたので、現場で先輩の仕事を見て覚えるのに必死でした。慣れてきてある程度現場の担当を任せてもらえる様になると、現場の段取りや、図面チェック、打合せ、工程調整に奔走しましたが、現場はいつも一難去ってまた一難、苦勞の



連続でした。その反面、苦勞した分だけやりがいも感じられました。今では現場

働きやすい職場づくり

ワーク・ライフ・バランス

ワーク・ライフ・バランス実現に向けた取り組みとして、次世代育成支援対策推進法による「一般事業主行動計画」(第3期)を策定し、厚生労働省の「女性活躍・両立支援総合サイト「両立支援のひろば」で公表しています。子育てを行う女性・男性社員に対して、「仕事と家庭の両立を支援するための雇用環境の整備」「働き方の見直しに資する多様な労働条件の整備」に取り組んでいます。「育児休業制度」を活用する社員は増加しており、2016年度では、出産を控えた女性社員の8割以上が育児休業を取得する見込みです。

育児休業取得者数

2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度
6名	6名	6名	5名	6名

労働時間短縮推進

支社・支店単位で労使協議会を開催し、継続的に労働環境改善に向けた協議を進めています。毎年6月と11月を「土曜休日取得推進月間」、原則毎週水曜日を「ノー残業デー」と位置付け、時短推進を図っています。また、そのほか、作業所異動時の休暇取得推進や書類削減などによる業務負担軽減にも取り組んでいます。

ハラスメント防止

社内教育の実施や通達、社内報による啓発を行い、セクシュアル・ハラスメントやパワー・ハラスメントの防止に努めています。また、すべての支社・支店に職場における相談・苦情窓口を設置し、問題発生時にはスピーディーに対応できる環境を整えています。

社内相互の親睦

社員相互の親睦を図るため、支社・支店ごとに相互会を結成し、旅行や食事会、レクリエーション活動(クリスマスパーティー、バーベキューなど)を行っています。

また、地域ごとにクラブ活動としてサッカーや野球、テニス、茶道などがあり各部とも楽しく活動しています。大阪本店の社屋には茶室があり、新入社員研修などの行事においては、茶道部によるお点前でお茶会が催されます。



社員相互会でのバーベキュー大会

メンタルヘルスケア

若手社員を対象に、ストレスとメンタルヘルスの基礎知識、予防・対処法などの修得を目的とした教育を実施しています。その他、メンタルヘルス不調者に対しては産業医による健康相談、退職者への復職支援を行っています。また、2015年12月施行の労働安全衛生法に基づく「ストレスチェック」を実施し、メンタルヘルス不調の未然防止にこれまで以上に取り組んでいきます。

で監督をやっていくうえで女性ということ
は特に意識せず、個性の一つと
思っています。

印象に残っているのは、青山通りで
道路から解体用タワークレーンの解体を
した時で、事前に役所との交渉を含め
苦勞して準備していたので、ガイド
として張ったワイヤーに沿わせて正
確にクレーンのジブを降ろし終えた
時の達成感は今でも忘れることは
ありません。

Q3. 女性の活躍に対する意見は。

建設業において、女性の活躍がさら

に広がりを見せ、多様な働き方への理解
が得られれば、男性の働き方も見直
されるのではないのでしょうか。それ
が建設業のイメージ向上につながり
ければ、建設業にとって大きなメリ
ットになると思います。他部署の
女性が活躍している話を聞くと私
も励みになります。

Q4. 今後の抱負を聞かせてください。

現在は、小学校2年生と保育園に通
う娘がいるので、育児と仕事の両
立を図りながら、施工図主任とし
て現場に勤務しています。今後は
今までの経験を活か

しつつ、且つ今までの枠に留まること
なく新しいことにもチャレンジして
可能性を広げていきたいと思っ
ています。



地域社会の一員として

職業訓練性を対象にした職場見学会を実施

大阪市職業リハビリテーションセンターの要請を受け、訓練生 13 名を対象に職場見学会を実施しました。秋から始まる就職活動に先立ち、働くことのイメージが持てるよう、当社で働く同センター修了生（OB・OG）が実際に働いている様子を見学してもらったり、体験談などを踏まえたアドバイスなどを聞いてもらいました。



職場見学会（大阪支社）

献血への協力

血液を必要とする患者さんの尊い命を救うための献血に当社は協力しています。

大阪支社では年 2 回、東京支社では年 1 回、社内で団体献血を行っています。2015 年度は大阪支社で 32 人、東京支社で 40 人が、献血に協力しました。



団体献血（東京支社）

子ども見守りデーに協力

大阪支社では、大阪西警察署が指定する「子ども見守りデー」に定期的に協力しています。これは、犯罪から子どもを守るため、警察署と町内会が一体となって実施している取り組みで、登校時の児童に「おはよう」などと声をかけ、安全に登下校ができるよう地域社会の一員として見守っています。



子ども見守りデー（大阪支社）

大阪マラソン給水ボランティアに協力

大阪支社では、社員と協力会社が一体となって、大阪マラソンの給水ボランティアに参加し、大阪マラソンを盛りあげています。

ランナーに「頑張ってください」と声援を投げかけ、水を渡し、応援することによって、私たちがランナーから勇気と感動をいただいています。



給水ボランティア（大阪支社）

現場見学会の開催

地域の方々に建設工事に対する理解を深めていただけるよう、現場見学会を開催しています。2015 年度も全国各地の作業所主催で多くの見学会を開催し、たくさんの方々にご参加いただきました。

当社の技術力やものづくりへの姿勢をはじめ、建設業全体の魅力を実感していただくことができました。また、参加された児童からの御礼の言葉やレターは、当社の励みとなっております。



高校生の見学会(国際支店)



地域の方々の見学会(大阪支社)



地域の方々の見学会(九州支店)



高専生の見学会(広島支店)

美化運動の推進

東京支社では年に2回、社屋の付近を清掃する「千代田区一斉清掃」に参加しています。

東北支社では仙台市内を流れる広瀬川を清掃する「広瀬川1万人プロジェクト」に参加し、地域の美化運動を推進しています。

名古屋支社では社屋前の「桜通り」の清掃を自主的に行っています。分離帯の植え込みと歩道（約150m区間）および支店玄関前の道路（約50m）の清掃を行い、地域の環境保全に取り組んでいます。また、2012年7月には名古屋市の「優良エコ事業所」に認定されました。

全国の支社・支店や作業所周辺はもちろん、地域の清掃イベントにも積極的に参加しています。



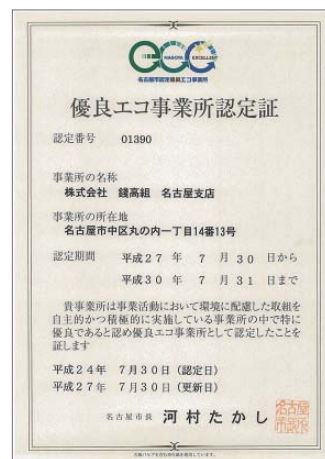
千代田区一斉清掃（東京支社）



広瀬川1万人プロジェクト（東北支店）



桜通り清掃（名古屋支店）



優良エコ事業所認定（名古屋支店）



なばきがわ 南白亀川イカダのぼり大会に参加 豊城 琴美 東京支社 工事事務課

千葉県長生郡白子町で当社施工中の八斗排水管建設本工事に従事している作業所のメンバーと、同町主催の「南白亀川イカダのぼり大会」に参加しました。

同大会は、参加者自慢の手作りイカダで、南白亀川の上潮を利用して川をさかのぼる日本で唯一のイカダのぼり大会で、今年で22回目を迎えています。

当社チームは、建設会社らしく建設現場で使っている排水管の余りものを繋い



で作ったイカダにヘルメットの出で立ちで臨みました。

予選では、発注者・事業主と共に同じレーンで三つ巴の戦いを制し、全32チーム中、決勝進出の9チームに残ることが

できました。予選で力を使い果たしてしまい、決勝では9位と残念な結果に終わりましたが、勇壮華麗な手作りイカダレースを楽しむことができました。

少子高齢化や核家族化が進み、人や地域との関わりが希薄化している現代において、町内外から多くの老若男女が集まるこのようなイベントはとても意義があると感じました。

建設会社の社員としてイカダレースに参加したことで、ものづくりの魅力や喜びを発信するとともに、祭事を通して地域の活性化にも貢献できたのではないかと思います。



銭高組のCSR

建設業が幅広く担っている社会的責任（CSR）に対する銭高組の企業活動をステークホルダーの皆様様に理解して頂く目的で「CSR 報告書」を発刊しています。

私たちは「大地への愛、人間への愛」という考え方に基づき「社会から認められ社会から求められる企業」を目指しています。私たちの基本的な考え方である「社是」「経営理念」に則り、全ての事業活動が社会的責任につながるとの認識のもと、建設事業のみならず、すべての事業分野において持続可能な社会の実現に向けた事業活動を進めています。

私たちの事業活動の目的は「企業価値の向上」です。当社を取り巻くステークホルダーの皆様とのコミュニケーションを通じて日々刻々と変化する社会の価値観をつかみ、私たち一人ひとりが課題を共有しながら社会やステークホルダーのニーズに応え、お客様の企業価値の向上に貢献することが、私たちの企業価値の向上でもあり、ひいては社会的責任を果たすことにつながっているものと考えております。

社 是

- 一、信用第一
- 一、堅実経営
- 一、積極的精神
- 一、和親協同

経営理念

- 一、社会から認められ社会から求められる企業として永遠に発展する
- 一、進取の精神を発揮し地球規模企業として世界に躍進する
- 一、人材を育成し自己の向上をすすめ活力ある企業として繁栄する

銭高組の事業活動の目標

銭高組を取り巻くステークホルダー

銭高組のCSRの6つのテーマ

銭高組の基本的な考え方

企業価値の向上 お客様の企業価値の向上



主な社外表彰



南三陸町交通安全表彰状
南三陸病院・総合ケアセンター新築工事



公共建築賞
東北大学青葉山キャンパスセンタースクエア



電気設備学会賞
柏の葉スマートシティゲートスクエア



地元小学校からの感謝状
丹波綾部道路由良川橋才原地区上下部工工事



仙台市からの表彰状
仙台市泉岳少年自然の家工事



水道工事イメージアップコンクール優良賞
拜島給水所から昭島市美堀長四丁目地内送水管用立坑及びトンネル築造工事

会社概要

社名 株式会社 銭高組
 本社 東京都千代田区一番町31番地
 本店 大阪市西区西本町2丁目2番11号
 なにわ筋ツインズウエスト
 代表者 社長 銭高久善
 創業 1705年9月18日
 創立 1887年2月1日
 設立 1931年4月10日
 (株式会社銭高組に改組)
 資本金 36.95億円
 純資産 500億円(2016年3月31日現在)
 従業員数 901名(2016年3月31日現在)
 事業内容 1.建設工事の請負、企画、設計および監理
 2.建設に関する開発事業ならびにこれに関する調査、
 企画、設計および監理
 3.不動産取引業
 4.建設材料の加工および販売
 5.前各号に附帯する事業ならびにこれに関する一切
 の業務
 事業比率 土木25%、建築73%、不動産2%
 (2016年3月31日現在)

CSR報告書2016の編集方針と基本要件

■編集方針

本報告書は、銭高組の事業活動について報告することにより、事業内容および社会的責任への取り組みについてご理解いただくことを目的としています。

■対象範囲

銭高組 本社・本店および支社・支店

■対象期間

2015年度(2015年4月~2016年3月)
 *一部2016年度の活動も含んでいます。

■参考にしたガイドライン

環境省 環境報告ガイドライン(2012年版)
 ISO26000 社会的責任に関する手引き(2010年版)



URL <http://www.zenitaka.co.jp/>

本 社	102-8678	東京都千代田区一番町 31 番地	TEL 03-3265-4611
本 店	550-0005	大阪市西区西本町 2 丁目 2 番 11 号 なにわ筋ツインズウエスト	TEL 06-6531-6431
大 阪 支 社	550-0005	大阪市西区西本町 2 丁目 2 番 11 号 なにわ筋ツインズウエスト	TEL 06-6531-6431
東 京 支 社	102-8678	東京都千代田区一番町 31 番地	TEL 03-3265-4611
北 海 道 支 店	064-8628	札幌市中央区南 6 条西 13 丁目 1 番 28 号	TEL 011-532-7511
東 北 支 店	980-0811	仙台市青葉区一番町 4 丁目 7 番 17 号 小田急仙台ビル 3 階	TEL 022-261-3431
北 関 東 支 店	330-0061	さいたま市浦和区常盤 1 丁目 2 番 21 号	TEL 048-822-5108
千 葉 支 店	260-0834	千葉市中央区今井 1 丁目 12 番 8 号	TEL 043-263-8181
横 浜 支 店	231-0027	横浜市中区扇町 3 丁目 8 番 8 号 関内ファーストビル	TEL 045-201-9171
北 陸 支 店	951-8052	新潟市中央区下大川前通三ノ町 2170 番地 グランドアームス	TEL 025-224-2171
名 古 屋 支 店	460-0002	名古屋市中区丸の内 1 丁目 14 番 13 号	TEL 052-231-7631
神 戸 支 店	650-0012	神戸市中央区北長狭通 4 丁目 9 番 26 号 西北神ビル	TEL 078-391-5571
広 島 支 店	732-0828	広島市南区京橋町 1 番 23 号 三井生命広島駅前ビル 4 階	TEL 082-568-5261
四 国 支 店	760-0027	高松市紺屋町 5 番 5 号 紺屋町ファイブビル	TEL 087-821-5401
九 州 支 店	812-0025	福岡市博多区店屋町 2 番 16 号	TEL 092-291-3939
国 際 支 店	102-8678	東京都千代田区一番町 31 番地	TEL 03-5210-2349
技 術 研 究 所	102-8678	東京都千代田区一番町 31 番地	TEL 03-5210-2440
技 術 研 究 所 (青 梅)	198-0024	東京都青梅市新町 9 丁目 2222 番地	TEL 0428-31-6858

この報告書に関するお問合せ先 銭高組 総合企画部 TEL 03-5210-2382 FAX 03-5210-2396 E-mail csr@zenitaka.co.jp